

授業展開案 高等学校英語「コミュニケーション英語Ⅰ」

1 テーマ

自分の考えを伝える・仮定法過去

2 I C T 利活用のねらい

写真やイラストを使って、事実に反する仮定をする仮定法の用法を理解させる。また、イラストを作成して自分のことについて話す活動を行う。

3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

①機器：電子黒板，学習者用端末

②教材：「仮定法過去」(Microsoft PowerPoint)

4 I C T 利活用の場面

学習内容	I C T 利活用の場面
<p>前時の本文の内容の振り返り</p> <p>言語の働きについての導入</p> <p>表現の定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語の使用場面を意識させながらターゲット・センテンスを定着させる。 <p>表現活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イラストに合う内容を英語で表現する。 ・イラストや自分の顔写真を使って「今は実現しそうでないけどやってみたいこと」の画像を学習者用端末で作成し，発表する。 	<p>①説明の補助：ダイアログの提示。文字を提示する前に J T E と A L T でダイアログを実演するか動画で提示する等して，音声による導入を行う。</p> <p>②説明の補助：ダイアログに出てきた文を使い，言語の使用場面を意識させながら文法説明を簡潔に行う。</p> <p>③表現活動：仮定法の文を練習した後に，自分のことを表現させる。事実に反する仮定なので，生徒の自由な発想を引き出す。</p>

5 I C T 利活用のポイント

①説明の補助(図 1)

教師が A L T とダイアログを演じながら、例文を提示する。A L T が不在の場合は前もって録画をしておく、繰り返し使用ができる。例のように生徒にとって身近な内容のダイアログを考えて、教師が演じることで、生徒の興味・関心を喚起する。文字を提示する前に、生徒とダイアログの内容を簡単に確認する。

O: Are you going to buy a new car ?
 M: No, I'm not. I'm just looking. If I had money, I would buy a new car.
 O: I like music. So if I had money, I would buy 100 CDs.
 M: Sounds good. But if I were you, I would go abroad to study. It would have changed my view of life.
 O: Sounds interesting. If I could make money, I would go abroad to study. Can I work part-time to save money ?
 M: No way.

図 1 ダイアログの例

②説明の補助(図 2)

ダイアログの例文を提示する。生徒の言語活動の時間を確保するために、教師の文法説明はあまり長くならないようにする。また、スライドの内容を生徒のプリントに記載しておく、ノートに書き写す時間を短縮することができる。

仮定法

If I had money, I would buy a new car.

「お金があったら、新車を買うのになあ」

仮定法の文 **事実に反する仮定**

事実(お金がなくて車を買えない)に反する
 仮定(お金があれば車を買える)

図 2 スライドを用いた文法説明

③表現活動(図 3)

仮定法が「事実に反する仮定」をすることから、生徒がそれぞれ学習者用端末上で写真やイラストを使って画像を作成することで仮定法の文を視覚化する。画像のみを作成させ、完成した画像を電子黒板で全体に提示しながら、口頭でスライドのセリフのような文を発表させる。発表の後で教師と他の生徒はコメントや質問をする。

生徒の顔写真のデータを前もって準備するか、学習者用端末でその場で撮影する等し、実際に自分の顔を画像に入れさせる。自分や級友の写真があることで、自己表現ということ意識し、他の生徒の発表を聴く際にも関心をもって取り組むことが期待できる。

Let's try②

今はできそうにないけどやってみよう。イラストや自分の写真を使って画像を作って、英語で表現してみよう。

Example

If I had enough money, I would go to the Maldives and enjoy marine sports.




図 3 学習者用端末を用いた表現活動